

UTクリートの特徴

1. ユーティークリートのご紹介

ユーティークリートは、無機質軽量骨材とポルトランドセメントで調合されたモルタルを芯材として、両面に高強度のグラス繊維ネットで伏せ込まれた高耐久なセメントファイバーボードです。塗装材やタイル・擬石等の様々な仕上材を組み合わせ、多彩な仕上が可能となり、外壁はもちろん内壁にも下地ボードとして使用できます。

2. ユーティークリート塗り壁システム

ユーティークリートを下地の基材として使用し、乾式工法の合理性と湿式工法の獨創性を併せ持った塗り壁仕上げ工法です。

ユーティークリートの上に、樹脂プレミックスモルタルを使用して目地処理及び下地調整を行い、モルタル上にグラスファイバーメッシュを伏せ込み、弾性のアクリル樹脂スタッコ、「ハンティントンウォール」で表面を仕上げる獨創的な表状の壁仕上システムです。

3. ユーティークリートの特徴

①曲面壁の施工が可能

ユーティークリートは、可とう性に優れている為、曲面加工が可能で半径 1.8メートルまで現場で対応できます。より自由な設計をお楽しみいただけます。

②塗り壁の大壁面が目地無しで可能

ユーティークリートは、横張りが基本ですが垂直方向は 6,370mmまで横目地無しの塗り壁が可能で、勿論スムーズな樹脂モルタル面が容易に施工出来る全面メッシュ伏せ込み工法の大壁が可能となります。

③クラック防止

ユーティークリートは、吸湿・乾燥および湿度変化による材料の寸法変化が少ない事が特徴で、夏期の日中の直射光による高温や寒冷地の氷点下などの過酷な状況による材料の形状変化が非常に小さいことが特筆されます。

外的な力、地震や風圧力などによる歪みや撓みを面材内にマイクロクラックを発生させて分散、吸収しひび割れの削減に効果を発揮致します。(震度5強の北陸地震でも北陸地区のクラックの被害は無し)

④多様な仕上に対応

ユーティークリートには、塗壁材でもハンティントウォール以外に漆喰や珪藻土などの様々な自然素材と美しいテクスチャーが可能で、タイルや擬石などセメント接着剤による施工も可能です。

また、他社の大壁工法では出来なかった吹付け仕上やフラット仕上もユーティークリートでは施工が可能になりました。

⑤様々な工法に対応

ユーティークリートは木造枠組・軸組工法など様々な建築工法に対応できます。

特に、ユーティークリートは基本を理想的な通気工法に対応して開発されています。

⑦工事の合理化に

ユーティークリートは、専用マル鋸等で簡単にカット出来る為に容易にビス等で取付が出来ます。その為、表面にタイルや擬石等の複雑な仕上げが、容易に素早く行えます。工期短縮には最大の効果があります。

⑧耐水性・耐凍害性

ユーティークリートは、吸水性が低く放湿速度も早い為に凍害を起し難く、特殊な骨材と相まって、温度や水による変形が極めて少なく、吸水等による内部腐食の心配が殆どない為、寒冷地にも外壁の下地にも使用出来ます。

また、浴室やトイレなどの室内の水周りの下地にも使用出来ます。浴室などのリフォームや、改装などに伴う新規の壁などにも最適です。

⑨施工の簡素化

ユーティークリートは、ボードのジョイント部分の処理(コーキングや、メッシュテープなど)を行わずに施工できるため、施工工程の簡素化が出来、施工費用や施工日数の短縮ができます。

⑩施工性

施工例：約 180 m²の外壁を 2 人で約 3 日間で施工。(デザインにもよります。)



ブライトン株式会社

<https://www.brigh-ton.co.jp>